

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2013-527854(P2013-527854A)

【公表日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-035

【出願番号】特願2013-509404(P2013-509404)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/715	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/002	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/35	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/715	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 K	39/002	
A 6 1 K	39/00	K
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/35	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	39/39	
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	7/06	

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マンナンを含む免疫刺激組成物であって、マンナンの少なくとも75%が約1000kDaより大きい組成物。

【請求項2】

少なくとも1つの抗原又はそれをコードする核酸を更に含む、請求項1に記載の組成物。
。

【請求項3】

マンナンが酸化されている、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

マンナンの少なくとも75%が少なくとも150のアルデヒド基を有する、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

マンナンが酸化されており、少なくとも1つの抗原に共有結合されている、請求項2に記載の組成物。

【請求項6】

マンナンが酸化されており、ポリカチオンを介して少なくとも1つの核酸に抱合されている、請求項2に記載の組成物。

【請求項7】

少なくとも1つの抗原又はそれをコードする核酸に抱合される前に、酸化マンナンの少なくとも75%が少なくとも150のアルデヒド基を有する、請求項5または6に記載の組成物。

【請求項8】

マンナンが酵母に由来する、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

アミノナフタレン-1,3,6-トリスルホン酸(ANTS)で標識した後のマンナンのサイズ分布が、タンパク質基準に基づいて約150～約250kDaの間であり、及び/又は炭水化物基準に基づいて約800～約3000kDaの間である、請求項1から8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

対象において免疫応答を誘導する及び/又は高めるための、請求項1から9のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項11】

請求項1から10のいずれか一項に記載の組成物を調製する方法であって、

- i) マンナンを含む組成物を得ること、
- ii) サイズに基づいて工程i)の組成物を分画すること、
- iii) マンナンを含む1以上の分画を選択し、1以上の分画におけるマンナンの少なくとも75%が約1000kDaより大きいこと、及び
- iv) 少なくとも1つのその他の化合物と工程iii)のマンナンを任意で混合する又は抱合すること、を含む方法。

【請求項12】

少なくとも1つのその他の化合物が、抗原又はそれをコードする核酸である、請求項1に記載の方法。

【請求項13】

請求項2から10のいずれか一項に記載の組成物を調製する方法であって、

- i) マンナンの少なくとも75%が約000kDaより大きいマンナンを含む組成物を得ること、及び
- ii) 少なくとも1つの抗原又はそれをコードする核酸と工程i)の組成物を混合し又は抱合し、それによって組成物を調製することを含む方法。

【請求項14】

請求項11に規定される工程iv)または請求項13に規定される工程ii)の前に、
マンナンを酸化する工程をさらに含む、請求項11から13のいずれか一項に記載の方法。

【請求項15】

酸化マンナンの少なくとも75%が少なくとも150のアルデヒド基を有する、請求項14に記載の方法。